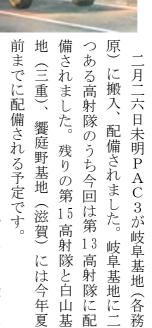
PAC3岐阜基地への配備始まる ミサイル防衛は戦争への道

「北ミサイル」迎撃準備始める防衛省―まるで宣戦布告

進行する地域の軍事化-軍需産業の影響力拡大



に愕いた人は多かったかもしれません。が。二六日中日夕刊一面に掲載されたこの写真列です。この写真では見にくいかもしらません上の写真は岐阜基地へ向かう搬入部隊の車

統制するということがよくわかります。 根入されました。岐阜県警を中心に三〇〇名規 機の警察官が警備したと新聞は伝えています。 この写真を見るとPAC3はあらゆるところを軍事基地にする。街中いたるところを軍事

近くに展開する必要があります。展開場所や移動中は当然軍事基地と同様な厳離が一〇~二〇キロ程度なので「防御」対象のPAC3システムは知ってのとおり、射程距

PAC3システムは発射装置、レーダー装置、射撃管制装置、情報調整装置、重な警備がなされることになります。展開する場所もかなりの広さを要します。

搬入写真は私たちに見せてくれました。 一、キッチンカー、給水車、トイレなどが付随します。それ以外にも工作に がも加わります。状況によっては陸自も警備等に出動してくるかもしれません。 びも加わります。状況によっては陸自も警備等に出動してくるかもしれません。 が計で数百人規模になる可能性もあります。文字通り移動する軍事基地です。 とこれらの部隊の移動経路も当然封鎖状態になります。それ以外にも工作に 無線中継装置で構成されています。さらに隊員の待機、休息するためのハウス





一角を占めるなどというものではありません。かなり広いスペースが必要にな装置などです。下の写真右側がキッチンカーです。これらが展開すれば公園の様です。上の発射装置の奥右側が隊員待機、休息用のハウスカー、左奥が管制前頁の写真は現行のPAC2システムです。構成は基本的にPAC3と同



山の上にあります。部です。岐阜基地の南西側の小高い上の写真は岐阜基地の第四高射群本

戦前のようです。
これでは一方的な通告です。まるで機密保持のためかもしれませんが、機の出土土五日午後だったそうです。

一方の各務原市も情報を市民に公開することもありません。安全性や搬入にかんしての安全確保などの説明や申し入れもありません。

の海野さんの呼びかけで抗議、申し入れ行動を岐阜基地へ対して行いました。AC3の配備の中止を求める会」代表二七日には地元の「岐阜基地へのP

-私たちの街が軍事色で染まってしまう―

不戦ネットも「東海交流会」として申し入れをおこないました。

AC3システムは三菱の小牧北工場でライセンス生産されています。それPAC3も含めた軍需産業は愛知―東海地方への影響を強めています。PPAC3は私たちの街に軍事基地を出現させるだけではありません。

だけではありません。

「北ミサイル」撃墜を準備―ミサイル

防衛発動

争への道といってきたことが本当になります。 いうのです。こんなことは絶対に許してはなりません。ミサイル防衛は戦れでは宣戦布告と一緒です。政府や自衛隊が一方的に戦争を開始しようとへ向けられたミサイルを撃墜できるように準備していると伝えました。こいてる最中に、中日WEBではMD用のイージス艦を日本海に配備し日本日の会見で浜田防衛相は肯定的な発言をしました。三月三日この文章を書日の会見で浜田防衛相は肯定的な発言をしました。三月三日この文章を書

私たちの平和への想いの強さと行動が問われています

(早見 章)